

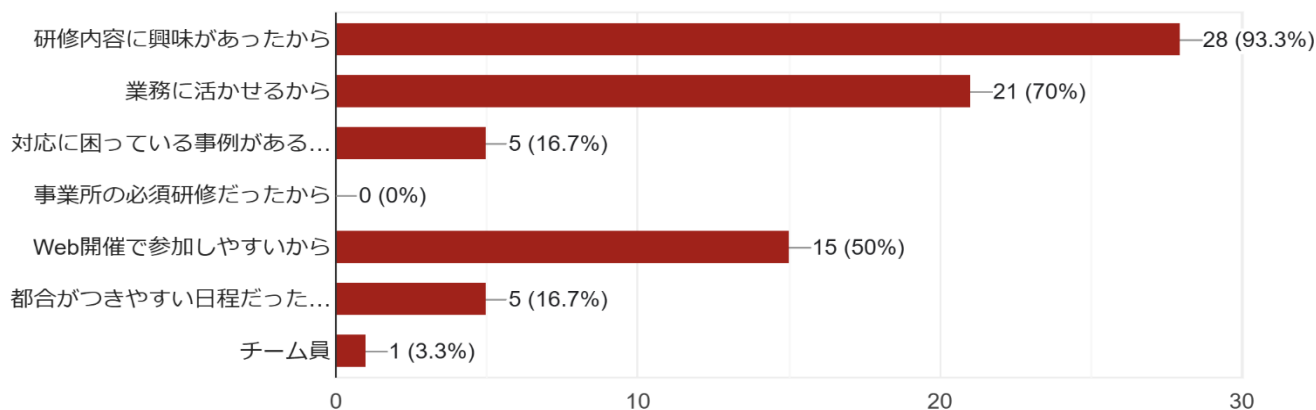
令和6年度 疾患別医療・介護連携事業 「摂食嚥下」嚥下障害とその対応 ～明日から活かせる工夫と練習～

青葉区在宅栄養・摂食嚥下チームの取り組み事例の報告 アンケート結果

参加者数 43名(関係者除く) アンケート回答数 30件 回答率 69.8%

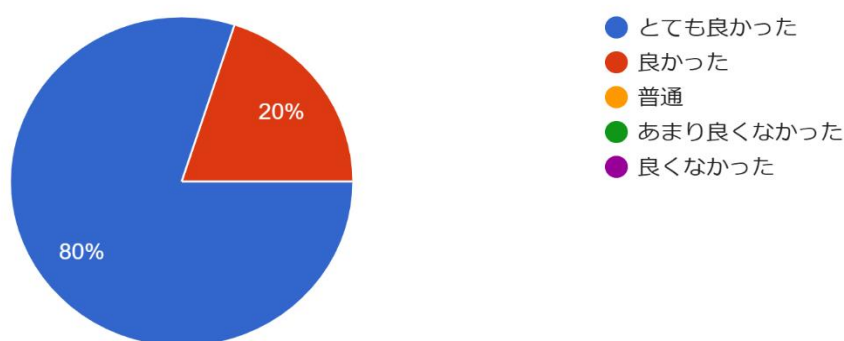
1. 今回研修に参加した理由を教えてください(複数回答可)

30件の回答



2. 研修はいかがでしたか?

30件の回答



理由を教えてください 25件の回答

代表的なご意見

- ・ 摂食嚥下の評価介入方法、嚥下食などが簡潔でわかりやすかった
- ・ まさに明日から活かせる内容ばかりで、とても勉強になりました。
- ・ 嚥下困難な利用者様の対応で困っていることが多々ありましたが、解決方法を学びました
- ・ 摂食嚥下について自分の知識を再認識し、また新しい知識も得る事ができた。
- ・ 動画や資料も見やすく所内で伝達研修を行いたいと思います。

4. 今後に活かせるような内容はありましたか。あればご記入ください。23件の回答

- ・ 嚥下訓練の方法。嚥下反射促通手技。嚥下機能評価介入の方法。開口訓練。口腔アセスメント
- ・ 認知機能低下の方への食事介助方法。嚥下が止まってしまった時、固形物と液体を交互に摂取など。
- ・ 姿勢 トロミ剤 開口してくれない時の方法 アイスマッサージ。
- ・ 飲み込むという状態を理解できたので、姿勢や摂取するものを今後に活かすことができそうです